

2025(令和7)年8月1日

一部週刊誌の記事について(声明)

学校法人鎮西学院 理事長 重松 史郎

2025年7月31日発売の週刊誌に、当法人の執行部(理事長・学院長等)に関する記事が掲載されていますが、この記事には、事実と異なる、または事実を一方的に歪曲した内容が含まれており、極めて遺憾です。

この記事は、当法人の不祥事を取り上げ、当法人の執行部が不誠実な行動を執っているかのごとき論調を呈していますが、その内容は、当法人との関係で利害を有するとされる関係者らが提供した情報のみに依拠するもので、事実と異なる内容が含まれているばかりか、当該関係者らの立場のみに依拠した一方的なものとなっています。

崇高な教育の現場において、当該関係者らが、正しくない、歪曲した事実をメディアに提供し、これを流布させたものであれば、その動機が奈辺にあるかはさておき、当該関係者らの中に、かつて当法人の執行機関の要職にあった者が含まれていることに照らし、非常に情けない思いがするばかりか、教育現場に携わってきた者の姿勢として、あるまじきものであるとたいへん危惧しております。

いうまでもありませんが、当法人の執行機関である理事会の構成員の改選については、当法人の規定に基づき、適正かつ厳粛に手続が履践されており、何らの不正も存在いたしません。

他方、これらの手続の模様および内容については、当然ながら、それに関係する者に対し、厳格な守秘義務が課せられているところ、当該関係者らによって、その義務の遵守に悖る事態が招来されていたとすれば、当法人のガバナンス上、決して看過できない事態といえます。おって、この点についても、当法人として必要な事実調査を行う考えです。

加えて、この記事には、当学院の学院長や上述の情報提供者と目される者ら以外にも、実名が掲載された方がいらっしゃいます。当法人にかねてご縁ある立場というだけで、全くの私人であるにも関わらず、ご本人の承諾なく、そのお名前を大衆の目に晒す挙に及んだことは、公器であるメディアの姿勢として、いかにもあるまじきことであって、この点についても、極めて遺憾に思うところです。

以上の次第で、当法人は、この記事を配信したメディアに対し、別途、厳重な抗議に及ぶ所存であることを申し添えます。

今般の、事実を誤認し、かつ歪曲された記事により、当法人・当学院の品位が著しく損われる事態に至ったことについて、当法人・当学院の関係者ならびに日頃からご支援を戴いております皆様に対し、心からお詫び申し上げます。

当法人の代表として、今後とも、当法人・当学院のために、正しい道を歩んで参る所存であることをお約束いたします。